

運用ビジネス

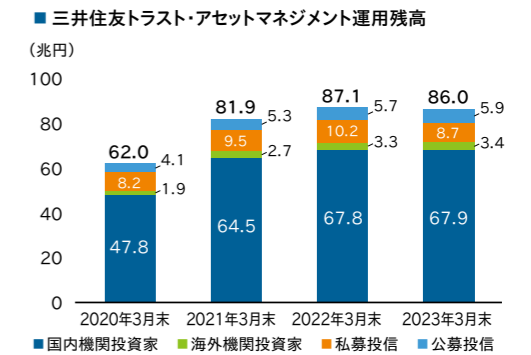


具体的な取り組み

(1) 年金運用で培った運用ソリューションの提供

三井住友トラスト・アセットマネジメントは、これまで年金基金など大手国内機関投資家の要望に、高品質の運用商品や課題解決力の提供で応えてきました。また、機関投資家向けの年金運用で培ったこれらの運用ソリューションは、投資信託の販売会社へのコンサルティング型の販売支援・プログラムを通じて、個人のお客さまにもお届けしています。

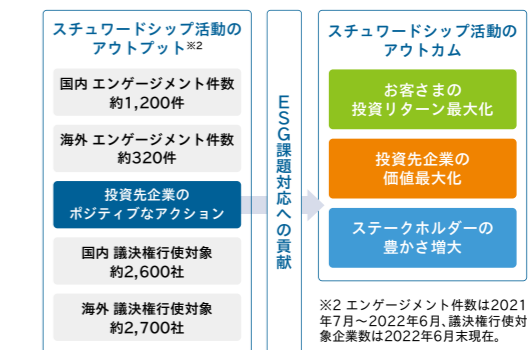
これからも投資家の多様なニーズにスピーディーにお応えするとともに、先進的かつ質の高い商品提供を通じて、お客さまの利益最大化を徹底して追求していきます。



(2) 責任ある機関投資家としてのスチュワードシップ活動

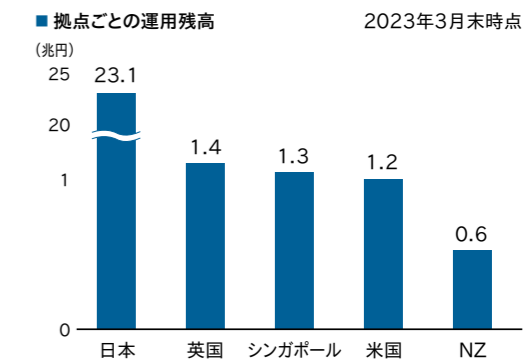
三井住友トラスト・アセットマネジメントは「責任ある機関投資家」として、国内外でエンゲージメント・議決権行使などのスチュワードシップ活動を推進しています。具体的には、ESG視点と事業視点を融合して投資先企業と深みのある対話を行うことに加え、気候変動・人権などのグローバルな社会課題に対する提言や、議決権行使を活用したガバナンス改善に資する意見表明を積極的に実施しています。

このような取り組みにより、企業価値向上を通じてお客さまの投資リターンを最大化するとともに、豊かな社会の実現にも貢献していきます。



(3) グローバルネットワークを活用した商品提供

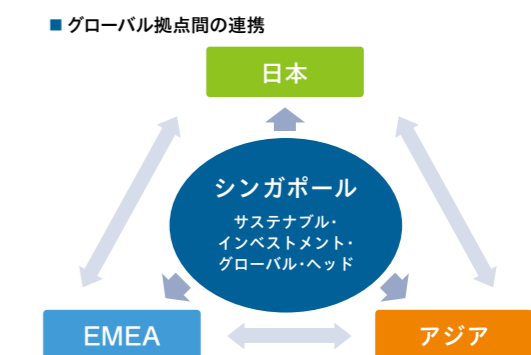
日興アセットマネジメントは、世界11カ国の拠点ネットワーク (JV含む) と、それらを積極的に活用したユニークな商品開発力や販売会社へのサポート等の強みを活かし、お客さまに革新的な商品・サービスを提供しています。例えば英国・エジンバラ拠点で運用するグローバル株式戦略はベンチマークにとらわれない少数銘柄への厳選投資を武器に、日本を含む世界各国の投資家にご提供しています。また、シンガポール拠点では株式から債券、マルチアセットまで多様な運用ケイパビリティを有し、多様なニーズへのきめ細かい対応力を背景に現地や近隣アジア諸国の投資家のみならず、多くの日本の機関投資家にも商品をご提供しています。



(4) ESG投資

日興アセットマネジメントは、一部の国内株式アクティブファンドをEUのサステナブルファイナンス開示規則 (通称SFDR) に基づく8条ファンド※3として新たに申請を行うなど、ESG課題の解決に資する運用商品の提供を強化しています。

また、日本拠点では、資産横断的なスチュワードシップ活動および各資産のESGインテグレーション深化を目的とした、サステナブルインベストメント部を新設しました。シンガポール拠点を中心とするグローバル・サステナブルインベストメント・チームがグローバル拠点間の連携を強めながら、世界のお客さまのご期待に沿えるよう質の高いESGの取り組みを強化します。



※3 ESG (環境、社会、企業統治) のうち、環境的または社会的な特性もしくはその組み合わせを促進する金融商品

ありたい姿

制度・資産運用コンサルティングを通じたお客さまの意思決定の支援に加え、グループ各社が持つ多彩な運用機能の選択肢を提供し、お客さまの長期・継続的な資産運用に貢献します。

また、ESG投資や投資先企業へのエンゲージメントを通じて、社会課題の解決と市場全体の成長に貢献します。

課題認識

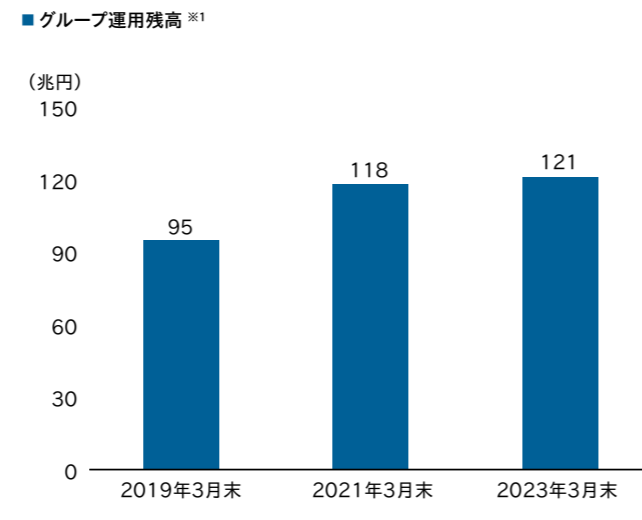
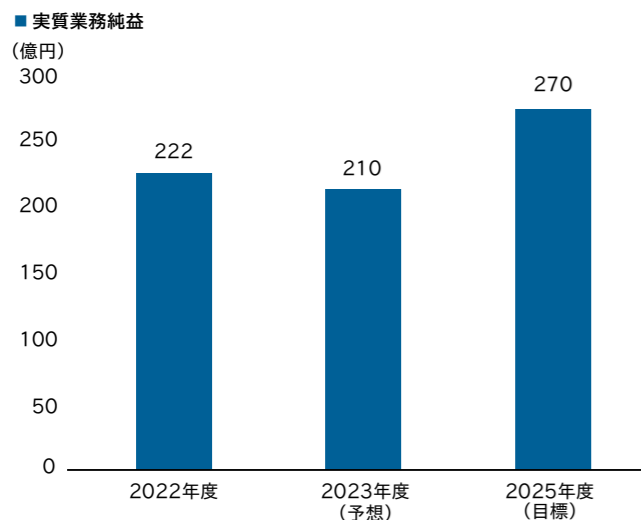
パッシブ運用を中心に手数料引き下げが加速し、投資家需要が旺盛なオルタナティブアセットにおいても海外プレーヤーの参入が相次ぐなど、競争環境は厳しさを増しています。また、気候変動や生物多様性・人権をはじめとして、環境・社会のサステナビリティ向上に対する運用会社への期待感も高まっています。

機会・強み

人生100年時代の資産形成ニーズや海外市場の高い成長ポテンシャルに加え、DXやESGの潮流がもたらす投資家の価値観の変化に着目することが重要と認識しています。当グループは、パッシブ/アクティブ運用で培ってきたカスタムメイドな商品設計力と多様なオルタナティブアセットに対する目利き力を活かし、新たな投資機会を創出していきます。

重点施策

- 社会課題解決型の運用商品開発
- 成長市場での拠点新設や販売チャネルの獲得による海外ネットワークの拡大
- 戦略的出資・提携の活用によるグローバルな運用ケイパビリティの拡張



※1 三井住友信託銀行、三井住友トラスト・アセットマネジメント、日興アセットマネジメントの運用残高合計